

おおばイワシの大漁だ、浜は祭りのようだけど、海の底では何万の、イワシの吊いするだろう

あなたの「生きる」を支えるお寺

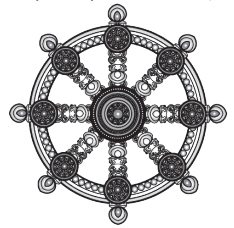
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゆんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.356



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

正信偈と住職法話

午前十時から十一時まで

一月一日(木) 元旦会

新酒で乾杯

除夜会

12月31日(水)

18:00~19:00

阿弥陀経と住職法話

あま酒おふるまい

くんま常例布教

1月26日(月)

10:00~15:30

正信偈と住職法話

「歎異抄に聞く」

正信偈と住職法話

午前十時から午後一時まで

一月十五日(木) 御正忌

遺徳者のお斎

住職法話 我聞如星

われかくのごとくきく

わがこころのよくて

ころさぬにはあらず②

再犯者製造工場

刑務所での教誨では、被収容者に教えることもありません。ある時、一人の被収容者の男性と会話をしていた。彼は、居住地（帰る場所）や身元引受人がいらないことから、どれだけ刑務所内で真面目に努めても仮釈放がもらえない人でした。彼は私に言いました。「ここの被収容者たちは、一日でも早く長く仮釈放をもらうために、刑務官さんに胡麻をすつてばかりなのですよ。でもね、刑務官さんがいないところで、出所した後はどうすれ

ば見つからないように捕まらないうように悪いことができるかの、情報交換ばかりしているのですよ。ここは、再犯者を作る製造工場みたいなものですよ」と。正直、刑務所の現状に驚きました。ところで、今年の六月一日に刑法の一部が改正されました。

改正前刑法

- ・（懲役）第十二条（略）
 - 2 懲役は、刑事施設に拘留して所定の作業を行わせる。
 - ・（禁錮）第十三条（略）
 - 2 禁錮は、刑事施設に拘留する
- 改正後刑法

- ・（拘禁刑）第十二条（略）

2 拘禁刑は、刑事施設に拘留する。

3 拘禁刑に処せられた者には、改善更生を図るため、必要な作業を行わせ、又は必要な指導を行うことができる。

第十三条 削除

懲役刑とは、刑務所等に収容して自由を奪った上で、刑罰として作業をさせることです。禁錮刑とは、刑務所等に収容して自由を奪った上で、刑罰として何もさせないことを言います。この、懲役刑と禁錮刑がいずれも廃止されて、拘禁刑に一本化されたのです。では、この刑法の改正は何を意味するのでしょうか。

懲罰から修復へ

日本の刑務所は、元は「監獄」と呼ばれていたように、



オスロ市庁舎前にあるノーベル平和記念館

罪を犯したものが自由を拘束されたり（禁錮）、作業をさせられたり（懲役）する「刑罰」を受けるところ、つまり「お仕置き部屋」のような場所でした。しかし、この刑法の改正により、懲役刑・禁錮刑が廃止され「拘禁刑」に一本化することに、刑務所が刑罰を受けるところではなく、再犯す

ることなく社会生活を営める生活環境を整えるための、改善・更正を目的にした「教育施設」「リハビリ施設」に変革しようとしているのです。

この改正に伴い、例えば刑務官から被收容者（受刑者）への呼称が、呼び捨てあるいは番号呼びであったものが苗字に「さん」をつけて呼ぶことが義務付けられました。共に、被收容者が刑務官を呼ぶ場合も、「オヤジ」というこれまでの呼び方ではなく、やはり苗字にさん付けで呼ぶことになりました。すなわち、悪いことをしたのだから罰を受けるのが当然だという「懲罰的司法」から、被收容者の人権に配慮された「修復的司法」への転換だと考えられるのです。

再犯率の最も低い国

さて、日本の刑務所を出所した人が再び罪を犯す確率「再犯率」は約五〇パーセントです。これは、世界各国の再犯率と比較すると平均的な数字です。では、世界一再犯率が低い国はどこかというところ、北欧の国ノルウェーで、その再犯率は二〇パーセントです。しかし、実は三十年以上前までは、ノルウェーの再犯率は日本よりも高い六〇〜七〇パーセントでした。それが、この三十年の間に二〇パーセントまで押さえ込むことに成功したのです。その理由は、まさしく修復的司法の導入でした。その結果、ノルウェーでの修復的司法の導入は、刑務所を大きく改革させたのでした。



この旅の起点となった美しきオスロ中央駅

そして、その現状をこの目で確かめるために、二〇二五年三月下旬から四月上旬までの七日間、私は滋賀県教誨師会の教誨師仲間と共に、ノルウェーの矯正・保護施設視察研修に出かけたのでした。三月二十六日午前、羽田空港からスカンジナビア航空機で、デンマークのコペンハーゲンを経由しておよそ十六時間。首都オスロのガーデモエン空港に到着したのは、

現地時間の午後六時を過ぎていました。空港から高速鉄道で三十分、オスロ中央駅に着くと、徒歩五分のところにあるホテルにチェックイン。駅ビル内にあるレストランで夕食を摂って、明日からの研修に備えて早めに床につきました。

さて、ノルウェーはオーロラが綺麗に見える北欧の国。日本とほぼ同じ国土面積に、日本の二十五分の一の人口、五二〇万人が暮らす緑豊かな国です。刑務行政では、一九〇五年に死刑が廃止され、終身刑もありません。殺人などどんな重い罪を犯しても、最高刑は禁錮二十一年です。そこに三十年前、修復的司法が導入されて、刑務所が懲罰的施設からリハビリ施設へと生まれ変わったのです。



1月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



キッズサンガ「ほとけの子ども会」

17日(土)・31日(土)
10:00~12:00
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めをして、仏典童話を聞きながら仏教の感性を学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

4日(日)・11日(日)
15:00~17:00
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。おやつタイムもあります。

みんなの食堂ビハーラ

7日(水)・21日(水)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

18日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

6日(火)・13日(火)・20日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません

お香とオルゴールの音色の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

「月例法話座談会」

19日(月)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

みんな法友こんき常例布教

26日(月)
10:00~12:00.13:30~15:30
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えた気楽なご法座です。法話は、純正寺住職の「歎異抄に聞く」です。

宗祖の祥月命日「御正忌法要」

15日(木)
10:00~13:00
年齢・性別は問いません

親鸞聖人祥月命日のご縁。『正信偈』のおつとめの後は、住職の法話です。法要の後は、「遺徳煮」のお齋をご一緒します。

一年の計は・・・元旦会

1日(木)
10:00~11:00
年齢性別は問いません

新しい年の始まりに、『正信偈和讃』を唱え聞いて、私のいのちの目的をはっきり確認しましょう。

NHKで本願寺特集

この度、NHK(総合)で本願寺特集「西本願寺、伝統と葛藤」が放送されることになりました。ぜひご覧ください。

放送日時 1月1日(木)
17:10~17:59

※NHK プラスで1週間配信あり

毎年、本願寺の御正忌報恩講では、十五日の夕方から十六日の朝まで一晩中ご法話をお聴聞させていたただく「通夜布教」が行われています。十六日午前六時からのお朝事では、一年に一度だけの「真譜」でのお正信偈のお勤めがあります。住職とご一緒していただけの方、純正寺までご連絡ください。お待ちしております。

本山御正忌通夜布教
一緒にお参り
しませんか